



# 望まれる子育て支援を



YouTube

「市独自の取り組みを行うことで、子育て世帯の定住を促進し、本市の一番の課題であります人口減少に歯どめをかけたい」という理由から、昨年10月から今年9月まで、国の政策より1年前倒して5歳児幼児教育保育無償化や待機児童問題の子育て支援策を実施してきましたが、効果検証について議論しました。

## 5歳児幼児教育・保育の無償化施策の効果検証について

**市**→市独自の経済的負担軽減策により、子育て世帯の支援に寄与できることから、幼稚園や保育所などの現場をはじめ各方面から、喜びや好感を持った声が種々寄せられており、子育てしやすい環境づくりを目指す、本市の取組みの一端を実感していただけたものと考えている。

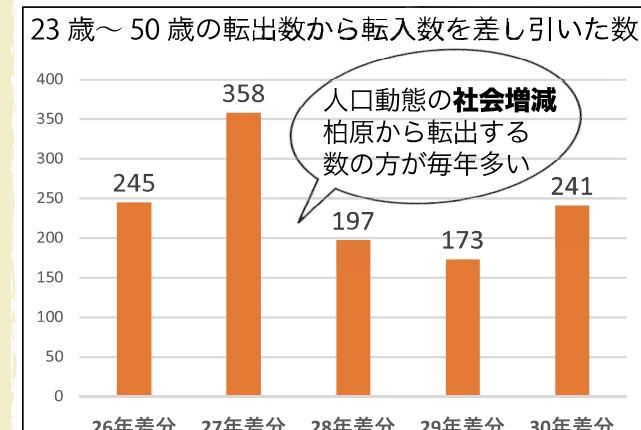


経済的な負担軽減の恩恵を受けることが出来た世帯はごく一部でしかなく、効果があったとは言い難いのではないでしょうか。子育て世帯がこの柏原市で子育てしやすいと感じ、定住はもちろん他市からの流入につながるように、望まれる子育て支援策を！（例えばインフルエンザ予防接種や幼稚園保育所での体操服等、柏原地区の病児保育やまちなかの大きな公園）



(22歳までは学生の転入出が多いため数に含めず)  
転出・転入理由は様々であると思われますが、単純に転出数から転入数を差し引くと右グラフの結果となり、子育て支援後も転出が多くなっています。

## 12月議会個人質問



※人口動態の出生数や死亡者数の自然増減は含まれません

## 待機児童対策の効果検証について

**市**→待機児童対策として、私立保育園の低年齢児入所枠の拡充のため国府の補助金支援を行い、年度当初は3年ぶりの待機児童ゼロが達成できた。



今年度は全体的に入所児童数が減っています。関連性など、今後も動向を見据える必要があります。

# 道路政策を

質問動画はこちらから▶

府からアンダーパス工事が15ヶ月延長すると説明があり、地域住民の皆さんにはまた負担がかかる結果となり大変残念です。

令和4年6月に完成した後、続いて周辺道路の整備の予定はどうなっているのか議論しました。

## 大県本郷線アンダーパス工事完了後の周辺道路の整備について

**市**→①上市法善寺線大県本郷線の交差点～柏原東小学校まで第2期区間、～柏原病院まで第3期区間  
②柏原駅東線文化センターからJR柏原駅（東駅前広場）  
駅周辺の交通環境を向上させつつ、効果的、効率的な道路網の構築に取り組んでいきたいと考えている



上市法善寺線は通学路であるにもかかわらず、歩道がなく狭隘な道路となっているので早急に対応をしていただきたい。柏原駅東側にはロータリーがなく動線が悪いため、大変危険です。また、市の発展を願い、計画を信じて大きな決断をして市に貢献していただいた方々がいます。市長や職員が変わっても行政の継続性は担保されなければならず、当初の計画の重みは十分にあると私は思います。さらに、市の様々な道路の脆弱性を克服することが強いまちづくりになると思います。

# 国分東小学校が統合へ



平成12年に開校した国分東小学校ですが、生徒数の減少から令和2年4月から国分小学校と統合することになりました。そのため、放課後児童会の定数の変更や、新通学路の安全対策として防犯カメラ設置などの議案があがりました。



防犯カメラは犯罪の抑止力になると思いますが、子どもたちが通る場所にはやはり見まもりの方の目があれば安心できます。登校時には通学路警備員を配置してくださると答弁がありました。下校時は時間帯が様々で、放課後児童会の子どもたちが帰宅する時間にも、教育部と福祉部が連携して警備員を配置して、子どもたちを守っていただきたいです。

# 学校トイレの洋式化



平成29年3月議会で要望していた学校のトイレ洋式化について、着実に進めていただき大変有難く思います。財源については、学校環境改善交付金を活用することですが、まずは国土強靭化地域計画を策定し、財源確保のために学校施設の環境改善計画を立てる必要があります。



# 市立柏原病院について

昨年9月、厚生労働省は「再編統合について特に議論が必要」とする病院名を公表し、市立柏原病院の名前も入っていました。ベッド数や診療機能の縮小なども含む再編を地域で検討し、2020年9月までに対応策を決めるよう求めています。平成29年の決算不認定のデータを用いて分析されているため、直近の取組は評価されていませんが、令和元年度の経営状況は赤字見込みであると病院事務局長が12月議会で答弁しています。再編統合の札を突き付けられている上、毎年2～3億円の赤字が発生している状況です。現在、経営コンサルタントが経営分析をしており、今年度中には一定の結果が出される予定です。

柏原病院が信頼のある病院となって多くの方に利用してもらうにはどうすればいいのか、まずは市民ニーズを知ることが先決であると議会でも訴えてきましたが、ようやく市民への意見聴取を始めるとの事です。

## 山口ゆかプロフィール

市議会議員2期目

無所属

堅下小学校、堅下北中学校卒業。

2人の子どもをもつシングルマザーです。

市議会の会派は「女性超党派りんどう」です。

住まいは上市3丁目で、事務所は法善寺にあります。



LINE  
公式アカウント



## ひとり親について

死別や離婚によるひとり親は寡婦控除が受けられるのですが、未婚のひとり親は寡婦控除の対象外とされてきました。認めてしまうと未婚を助長する、日本の家族制度が崩壊するといった声があつたためです。未婚のひとり親になった事情や背景は様々ありますが、自分ひとりで子どもを産み育てると覚悟を決め、死別の方や離婚の方と同じく一馬力で家庭を支えています。苦悩を抱えておられる方々のお話を聞き、同じひとり親であるにもかかわらず区別されることに私は憤りを感じると共に、市では何も出来ない歯がゆさを感じていました。しかしの度、政府与党の女性議員が立ち上がり、岩盤規制を破り、税制改正されることになりました。本当にうれしかったです。私も女性議員として、ひとり親として、柏原市で頑張っている方々の一助となるべく議員活動に邁進することを改めて決意しました。

後援会会員を募集しています ウェブサイト・電話・FAX・メールで随時受付中!  
一緒に政策を考える「柏原力UPの会」の会員を募集しています

## 山口由華後援会

〒582-0005 柏原市法善寺2-3-23  
tel. 072-921-7430 fax. 072-926-5077

Webサイト  
<http://yamaguchiyuka.com>

Eメール  
[info@yamaguchiyuka.com](mailto:info@yamaguchiyuka.com)